

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭63-256802

⑤Int.Cl.<sup>4</sup>  
G 01 B 3/10識別記号  
1 0 1庁内整理番号  
8605-2F

④公開 昭和63年(1988)10月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑬発明の名称 巻尺装置

⑭特 願 昭62-91652

⑮出 願 昭62(1987)4月14日

⑯発 明 者 石 井 賢 次 大阪府豊中市服部豊町1丁目13番12号

⑰出 願 人 石 井 賢 次 大阪府豊中市服部豊町1丁目13番12号

## 明 細 書

## 1. 発明の名称 巻尺装置

## 2. 特許請求の範囲

① ケース中へ、弾性帯状金属板の表面に目盛が列設された巻尺が抽出可能に装備されたものにおいて、ケース側壁に窓孔を開設して繰出ローラを配備し、ローラの内側を巻尺リールに接触させ、外側を窓孔より突出させて成る巻尺装置。

② 窓孔が、巻尺抽出口と直交する側壁に開設されている特許請求の範囲第1項記載の巻尺装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## &lt;産業上の利用分野&gt;

この発明は長さ計測に用いる巻尺装置に関する。

## &lt;従来技術&gt;

この種巻尺として、ケース中へ、弾性帯状金属板の表面に目盛を列設した巻尺を抽出可能に

装備したものがある。

この巻尺は、先端の引掛片を計測物に引掛けてこれを引き出し、計測することがなされている。

## &lt;発明が解決しようとする問題点&gt;

ところが、従来巻尺は、抽出初めに引掛片を指先で撥み、引出さなければならず、両手操作が必要となる。このため、最近、殊に建築業者等の間から、使用初めの巻尺の抽出を片手操作で行ない得る巻尺の出現が強く要望されているが、現在そのようなものは存在しない。

そこで、この発明は、ケース側壁に簡単な構成を施すことにより上記の要望を満足し、使用上の便利さをはかった新規な巻尺装置を提供することを目的とする。

## &lt;問題点を解決するための手段&gt;

上記の目的を達成するための、この発明の手段を説明すると、この発明は、ケース中へ、弾性帯状金属板の表面に目盛が列設された巻尺が抽出可能に装備されたものにおいて、ケース側

壁に窓孔を開設して繰出ローラを配備し、ローラの内側を巻尺リールに接触させ、外側を窓孔より突出させてなる。

#### <作 用>

上記巻尺装置の使用に際しては、ケース窓孔のローラを計測物に押当て、これを移動する。これによって、ローラが回転し接触したリールを回転駆動して巻尺を抽出口より押出し、先端引掛片を直ちに引掛けることができ、斯る巻尺の引出し初めを片手操作で行ない得、初期の目的を達成した実用上の効果を奏する。

#### <実施例>

第1図はこの発明の一実施例にかかる巻尺装置を示している。該巻尺装置は、側壁のコーナ部に巻尺抽出口11が開設された密閉型のケース1中へ、弾性帯状金属板の表面に目盛21が列設された巻尺2が抽出可能に装備され、巻尺リール22とケース1との間には、リール22を巻込み方向に附勢パネ機構(図示せず)が設けてある。

この発明は、上記ケース1の抽出口11と直交

測できる。引掛片23を外すと、巻尺2は内部のパネ機構により自動的に巻込まれる。

尚、ローラ3の回転を指先またはストップレバー等で止めることにより、巻尺2の巻込みをストップすることもできる。

#### <発明の効果>

この発明は上記の如く、ケース中へ、弾性帯状金属板の表面に目盛が列設された巻尺が抽出可能に装備され、前記ケース側壁に窓孔を開設してローラを軸承配備し、ローラの内側をケース中の巻尺リールに接触させ、外側を窓孔より突出させたから、ケース側壁のローラを計測物に押当て動かすことにより、ローラが巻尺を抽出口より押し出し、以て、片手操作で巻尺を使用でき、発明目的を達成した効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例にかかる巻尺装置の断面図、第2図および第3図は第2実施例を示す断面図である。

する側壁に窓孔12を開設し、この窓孔12にローラ3を回転自由に軸承配備して、ローラ3の内側をケース1中の巻尺リール22に接触させ、外側を窓孔12より突出させたことを特徴とする。上記ケース1のローラ軸受部は、軸受孔を長孔にする等により、ローラ3がケース1中の巻尺方向に移動可能に構成する。

第2図はこの発明の他の実施例を示している。この実施例では、前述例と同様、ケース側壁に窓孔12を設けてローラ3を軸承すると共に、このローラ3と巻尺リール22との間に従動ローラ31を介装し、接触させている。この実施例では、巻尺2の抽出方向とローラ3を押当てケース1の移動方向が従動ローラ31によって同一方向である。

然して、巻尺装置を使用するにあたって、ケース1のローラ3を計測物に押当てこれを手前に引き動かすとき、巻尺リール22は、ローラ3の回転によって抽出口11より突出し、伸長する。先端引掛片23を計測物の端に引掛け、直ちに計

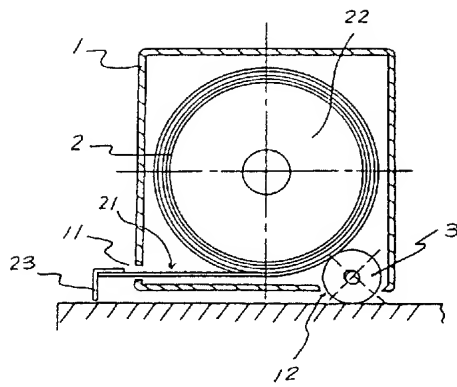
1 …… ケース	12 …… 窓 孔
2 …… 巻 尺	21 …… 目 盛
3 …… ローラ	22 …… 巻尺リール

特許出願人

石 井 賢 次



図1



この発明の実施例にかかる  
巻尺装置の断面図

- |          |          |
|----------|----------|
| 1... ケース | 12... 孔  |
| 2... 巻尺  | 21... 目盛 |
| 3... ローラ |          |

図2

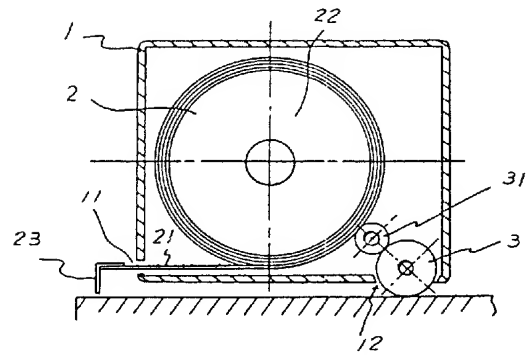


図2の実施例を示す断面図

図3

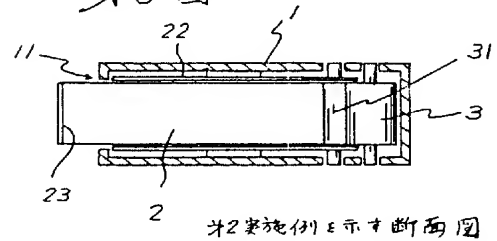


図2の実施例を示す断面図

**PAT-NO:** JP363256802A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 63256802 A  
**TITLE:** MEASURING TAPE UNIT  
**PUBN-DATE:** October 24, 1988

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
ISHII, KENJI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
ISHII KENJI	N/A

**APPL-NO:** JP62091652  
**APPL-DATE:** April 14, 1987

**INT-CL (IPC):** G01B003/10

**US-CL-CURRENT:** 33/755

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To operate a measuring type with one hand by projecting a unwinding roller from a window hole in the side wall of a case, pressing the roller against to a body to be measured and moving it, and rewinding the measuring tape.

**CONSTITUTION:** The measuring tape 2 formed by providing graduations 21 to an elastic beltlike metallic plate is arranged in the case 1 which has a measuring tape extraction opening 11 at its corner part, and a spring which energizes a measuring tape reel 22 in a winding-in direction is arranged.

Then the window hole 12 is formed in the side wall of the case 1 and part of the unwinding roller 13 is arranged projecting from the window hole 3. When the measuring tape 2 is used, the roller 3 is pressed against the body to be measured and moved to unwind the measuring tape 2 from the extraction opening 11 to take a measurement. The measuring tape unit is therefore operated with one hand in the beginning of drawing-out operation and used effectively for field measuring operation.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio